

# 一般質問

平成19年第4回定例会における一般質問は、9月19日・20日の2日間にわたり、11人の議員が質問に立ち、市当局の考えをいただきました。その中から主な内容を要約して掲載しています。なお、文章は質問議員が自らまとめたものです。より詳しい内容については、会議録又は、市ホームページの「たつの市議会会議録検索システム」で閲覧検索が可能（12月頃から）ですので、ご利用ください。



質問者  
前田守彦議員

「本龍野駅前周辺まちづくり」構想は、約16年前から住民主体で検討されいよいよ21年完成予定だが、本当に出来るか見えない部分があるので、以下行政の考え方を伺う。

## 道路拡幅と立退き問題

**問** 物件移転補償、買上げにつき、県との個別交渉中と聞か（一部難航）21年完了は間に合うのか。地域住民は十分知らされず、無関心派も多いが、「住民主体まちづくり」なら、もっと積極的情報開示をしてやるべきと思うが。

**答** 県が平成16年から測量着手、現在地権者と用地交渉中。平成21年度完了を目指し、鋭意取り組んでおり、現時点で約8割の方の了承を得ている。  
**問** 大切なのは、まち並み景観だ。現時点、立退き、他所へ移り住む人は

かり。跡地は更地の野原と化し、景観無視のまちになる。景観こそまちの資産。景観条例などを考え、オシャレなまち、駅前を目指すべきと思うが。

大阪方面への快速ダイヤを走らすこと。又智頭線を佐用から姫新線経由にする。そうすれば、将来京阪神のベッドタウン化も計れ、たつの市の人口増になるかも。JRとそんな話をしていくべきと思うが。

## 駅舎建築構想はどのよう形態で考えているのか伺いたい。

**問** 駅舎の老朽化が進んでいることから、国交省交付金事業として全面改築を行い、玄関口としてのシンボル性ある建物にする。加えコミュニティ施設を駅舎内に設置。21年度完成を予定している。

**答** 近年利用客が年々減少の一途である。鉄道の必要性に関し、県、JRへ要望活動を行っている。今後共、姫新線存続と将来に向けての利便性を向上させるため、ご指摘案も含め努力する。

**問** まちの発展は交通機関が大事。車輛を軽量化し、スピードアップ、時間短縮と便数増加で、どれだけ乗降客増大につながるか疑問。1日2〜3本、乗換えなしで京都、

近所利用客が年々減少の一途である。鉄道の必要性に関し、県、JRへ要望活動を行っている。今後共、姫新線存続と将来に向けての利便性を向上させるため、ご指摘案も含め努力する。

## 姫新線利用客増大計画について

**問** 駅前周辺開発でジャスコ跡地開発は重要課題。約2000坪の更地はどうなるか。

**答** ジャスコ閉店に伴い発生する問題のうち、行政がかかわる事柄については、関係機関の協力を得て対応していく。

## その他の質問

「障害福祉計画が根本的改革される」とあるが、障害者人口増に伴い行政の取組姿勢を伺う。

「障害福祉計画が根本的改革される」とあるが、障害者人口増に伴い行政の取組姿勢を伺う。

「障害福祉計画が根本的改革される」とあるが、障害者人口増に伴い行政の取組姿勢を伺う。